

# 蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 9 月 28 日(水)

第 21 号

発行人 校長 鈴木史良

## 台風による被害を克服

—— いざというときに地域に貢献できる中学生の姿 ——

3連休前の9月21日(水)、本州に迫っていた台風15号は静岡県浜松付近に上陸しました。この日は朝から暴風雨警報が発令されていたので、生徒たちは自宅待機。その後は天候の回復が見込めないために、「まもメール」で休校の連絡をしました。先生方は通常通り出勤して職務に専念していましたが、午後4時を過ぎた頃から風雨が強くなり始め、木々の枝や葉が激しく揺れ動き始めました。その後、更に激しさを増した風雨によって、屋上にある給水塔を囲むブリキ片が吹き飛ばされたり、鉄の門扉が風圧で押し倒される等、本校でも思わぬ被害を受けたのです。



倒れた鉄の門扉

道路には枝や葉が……



翌22日の朝に調査すると、体育館天井、用務員棟の屋根、第2駐車場の倒木、バックネット脇の倒木等、他にも被害がありました。学校に登る通学路(頑張り坂)にも風でちぎれた木の枝葉が散乱、堆積し、自動車が通るのにもたいへんな状態でした。

こういう災害時こそ中学生は地域の力になります。東日本大震災の際、津波から小学生たちを誘導し、命を救ったのは釜石の中学生の自主的な行動でした。深良中の生徒たちも、学校のため地域のために、給食後の昼休みを返上してほうきを手に校庭やグラウンド、通学路等に散乱した枝葉を一生懸命片付けました。

急なことでしたが、このような行動ができる深中生は、とても良い所があると思います。地域を支える頼もしい若者になるでしょう。



さあ、これから頑張ってください！



通学路に散乱した枝葉を片付ける生徒たち

## ある日の授業風景 1年B組 国語「漢字を見抜く」

授業者 宮野修治

「次の人ってだれだっけ」「おれ終わったよ」「わたし本読んだ」「席替えしたからわからなくなっちゃったよ」「ということは教科係からかな」授業が始まり、教科書の読みを学級で決めてある順番で読んでいこうとしたときの生徒の声である。常に順番通りの発表をしていればこんなことはなくなるのだが、それでは発表しようとする意欲がなくなってしまうためランダムに順番の発表や本読みを取り入れている。

《本読み中》 もとは一つの漢字だったものが多く、意味もあわせて表しているものがあります。このような声符を持つ漢字を「会意兼形声文字」カイイ・ケンケイセイ？ カイ・イケン・ケイセイ？ カイイ……？？？わかりません。教えてください。（読めた友達がカイイ・ケン・ケイセイモジとそばで教える）カイイ・ケン・ケイセイモジと呼んだりします。〈以下省略〉



本読みが終わり Q 会○話 + 水 → □動 ○の漢字の声符を足すと□の漢字になります。意外な形です。見抜けますか。の問いが出題されて考えているとき、話の字は「言」と「舌」だから「舌」に「水」を付ける……へん？ つくり？ かんむり？ あし？ かまえ？ たれ？ によろ？ 水 水 水 ??? エーないよ とさんざん悩んでいた女子生徒が「さんずい」の声が聞こえたとき「アアアアそうか」と思わず声を上げた。「さんずい」が水に関するものだとわかっていたのに、問題文の「水」の漢字に惑わされていたのだ。漢字の学習をしていると、思わぬところで答えがわかった感嘆の声やつぶやきが聞こえてくる。今日その他に聞こえた声は、「○業員」を「工作人員」と答える男子、すぐに「何でサクが出てくるの」と女子のつつこむ声。源流を「ゲンリュウになる。ねえゲンリュウってあるの」の質問に「エーあるんじゃないの」「先生、これって音読みですか」等々。声符、義符で組み合わせられた漢字約八割と多いけど、がんばって覚えた1時間があったという間に過ぎた。

## 10月の主要予定 (部活終了午後4時30分、下校午後4時45分)

- 10月2日(日) 深良地区運動会
- 3日(月) 三者教育相談(~6日) 5日(水)校納金振替日
- 7日(金) 前期終業式 給食なし(弁当)
- 12日(水) 後期始業式 なかよし運動会(C組) 給食なし(弁当)
- 14日(金) 読み聞かせ
- 15日(土) 駅伝競走大会東部地区予選会 英語検定1次試験
- 20日(木) 市内中学校連合音楽会
- 21日(金) 救命救急講座(2年生)
- 22日(土) 深良地区クリーンアップ作戦
- 28日(金) 後期生徒総会
- 31日(月) 2年生職場体験(第1日) 給食なし(弁当)